

医療分野における レギュラトリーサイエンス研究

～科学技術の成果を人と社会に役立てるために～

令和6年12月3日(火) (開場 12:15)
13:00～18:00

会場 **よみうり大手町ホール**
東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル

参加費
無料
事前登録制

ハイブリッド
開催
会場開催とオンライン
開催の併用

プログラム

- | | |
|-------|---|
| 13:00 | 【開会挨拶】 三島 良直 日本医療研究開発機構 理事長
【来賓挨拶】 佐藤 大作 厚生労働省 大臣官房 審議官 (医薬担当) |
| 13:15 | 【第1部】AMED 医薬品等規制調和・評価研究事業の取り組み
奥田 晴宏…「医薬品等規制調和・評価研究事業の10年間の歩み」
医薬品等規制調和・評価研究事業 プログラムスーパーバイザー (医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 会長)
齋藤 嘉朗…「新医薬品等の開発・評価に貢献する国立衛研のレギュラトリーサイエンス研究」
国立医薬品食品衛生研究所 副所長
平林 容子…「医薬品の非臨床安全性評価手法をめぐる国際情勢の変遷とICHガイドラインの策定に資する研究」
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター長
岩崎 清隆…「クラスIV治療機器の開発基盤を構築するヒト病態を模した試験システムの開発」
早稲田大学 理工学術院先進理工学研究科共同先端生命医科学専攻 教授
中村 治雅…「リアルワールドエビデンスの regulatory decision making へ向けて、その活用の意義と現状」
国立精神・神経医療研究センター 臨床研究支援部 部長 |
| 15:45 | ポスターセッション…「事業支援課題研究者による発表」 会場のみ (Web 配信なし) |
| 16:55 | 【第2部】レギュラトリーサイエンス研究の課題と今後の展望
宇山 佳明…「PMDAにおけるレギュラトリーサイエンス研究と推進に向けた取り組み」
医薬品医療機器総合機構 執行役員 (研究部門担当)
柏谷 祐司…「製薬業界(製薬協)の立場から、この10年の変化、対応や課題、今後の展望について」
日本製薬工業協会 薬事委員会 委員長 (武田薬品工業株式会社) |
| 17:45 | 【閉会挨拶】 日下部 哲也 日本医療研究開発機構 創薬事業部 部長 |

※プログラムは一部変更となる可能性があります。
最新情報はこちらをご確認ください。

>>> https://www.amed.go.jp/news/event/241203_RSsympo.html

【お申し込み】

右記HPより
お申し込みください

https://krs.bz/amed_rs/m/rs-sympo2024

お申込期間：[会場参加] 令和6年11月29日(金) 12時まで(定員300名にて受付締切)

[オンライン参加] 令和6年11月29日(金) 12時まで(定員500名にて受付締切)

【お問合せ先】

参加方法等について

「第10回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム」運営事務局(株式会社ディーワークス)

TEL：03-5835-0388(平日10時～17時) E-mail：amed2024rs@d-wks.net

